

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【話し手の意図を聞き取る問題】

- 1 よう子さんの学校では、社会科の時間に農家の山田さんをおよびして、農家の仕事について話を聞きました。山田さんの話の中で、一番言いたかったことはどんなことですか。最もふさわしいものを一つ選んで番号を書きましょう。

レベル5・6

山田さんの話

わたしの畑では、春と秋の年に二回かぶを作っています。たねをまく前に、トラクターを使って畑の土をやわらかくたがやします。そのときに、ひりょうをまいて、えいようがたつぷり入った土を作ります。これは、おいしい野菜を作るためにも大切なことなのです。

たねは、たねまききという道具を使ってまきます。この道具を使うと速く、まっすぐきれいにまくことができます。葉が育ってきたら、病気や虫をふせぐために、うすめた薬をまきます。薬をうすめるのは、なぜだか分かりますか。安全な野菜を作るためです。

四十日ほどかぶは育ち、しゅうかくできます。しゅうかくしたかぶは、きれいに洗い、テープでまとめ、ダンボールにつめます。みなさんに安全でおいしい野菜をとどけるため、いっしょうけんめい育てています。みなさん、野菜をのこさず食べてくださいね。

- 1 すききらいをせず、やさいをできるだけ食べてほしいということ。
- 2 たねまききを使うと、速くまっすぐにたねをまくことができること。
- 3 えいようがたつぷり入った、やわらかい土を作ることがとても大切なこと。
- 4 安全でおいしい野菜を作るために、いっしょうけんめい育てていること。



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル6・7

たろうさんが、スーパーマーケットの店長さんにインタビューしています。

たろう 「こんにちは。ぼくは、みどり小学校の山田たろうです。きょうは、店長さんにスーパーマーケットではたらいている人たちのことを聞きに来ました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいている人は、

A

店長 「売り場で、はたらいている人がやく三十人、売り場いがいでは、やく五十人、全部でやく八十人です。」

たろう 「わあ、そんなにたくさんいるのですか。売り場ではたらいている人は、

B

店長 「品物をはこんでならべたり、レジをしたり、お客さんをあんないしたりしています。」

たろう 「いろいろな仕事があるんですね。さいごに、お客さんがたくさん来てくれるように、くふうしていることは何ですか。」

店長 「お客さんが買いやすいように、色どりを考えてきれいにならべたり、チラシを入れてとく売をしたり、品物の場所を表すかんばんをつけたりしています。」

たろう 「たくさんのかうがあることがわかりました。ありがとうございました。」

たろうさんは、店長さんにどんなことを聞いていますか。
にあてはまる、みちこさんが言った言葉を書きましょう。

A

B

A 「はじめに、ここではたらいっている人は、

」。

B 「売り場ではたらいっている人は、

」。

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

模範解答

【話し手の意図を聞き取る問題】

- 1 よう子さんの学校では、社会科の時間に農家の山田さんをおよびして、農家の仕事について話を聞きました。山田さんの話の中で、一番言いたかったことはどんなことですか。最もふさわしいものを一つ選んで番号を書きましょう。

レベル5・6

山田さんの話

わたしの畑では、春と秋の年に二回かぶを作っています。たねをまく前に、トラクターを使って畑の土をやわらかくたがやします。そのときに、ひりょうをまいて、えいようがたつぷり入った土を作ります。これは、おいしい野菜を作るためにも大切なことなのです。

たねは、たねまききという道具を使ってまきます。この道具を使うと速く、まっすぐきれいにまくことができます。葉が育ってきたら、病気や虫をふせぐために、うすめた薬をまきます。薬をうすめるのは、なぜだか分かりますか。安全な野菜を作るためです。

四十日ほどかぶは育ち、しゅうかくできます。しゅうかくしたかぶは、きれいに洗い、テープでまとめ、ダンボールにつめます。みなさんに安全でおいしい野菜をとどけるため、いっしょうけんめい育てています。みなさん、野菜をのこさず食べてくださいね。

- 1 すききらいをせず、やさいをできるだけ食べてほしいということ。
- 2 たねまききを使うと、速くまっすぐにたねをまくことができること。
- 3 えいようがたつぷり入った、やわらかい土を作ることがとても大切なこと。
- 4 安全でおいしい野菜を作るために、いっしょうけんめい育てていること。

それぞれの段落でくり返し言っていることに気をつけて読みましょう。

4



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル6・7

たろうさんが、スーパーマーケットの店長さんにインタビューしています。

たろう 「こんにちは。ぼくは、みどり小学校の山田たろうです。きょうは、店長さんにスーパーマーケットではたらいている人たちのことを聞きに来ました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいている人は、

A

店長 「売り場で、はたらいている人がやく三十人、売り場いがいでは、やく五十人、全部でやく八十人です。」

たろう 「わあ、そんなにたくさんいるのですか。売り場ではたらいている人は、

B

店長 「品物をはこんでならべたり、レジをしたり、お客さんをあんないしたりしています。」

たろう 「いろいろな仕事があるんですね。さいごに、お客さんがたくさん来てくれるように、くふうしていることは何ですか。」

店長 「お客さんが買いやすいように、色どりを考えてきれいにならべたり、チラシを入れてとく売をしたり、品物の場所を表すかんばんをつけたりしています。」

たろう 「たくさんのかぶうがあることがわかりました。ありがとうございました。」

たろうさんは、店長さんにどんなことを聞いていますか。
にあてはまる、みちこさんが言った言葉を書きましょう。

A

B

A 「はじめに、ここではたらいっている人は、

何人いますか

※同様の答えは正答とします。

B 「売り場ではたらいっている人は、

どのような仕事をしていますか

※同様の答えは正答とします。

たろうさんが言ったあとに、店長さんが答えた言葉から考えましょう。
また、インタビューするときには、「〜ですか。」「〜ますか。」のように
ていねいな言葉を使いましょう。

復習シート 第四学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

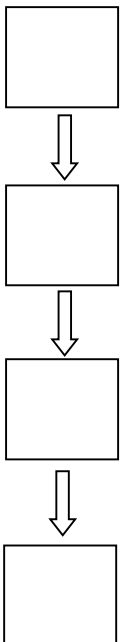
A
スーパーマーケットに着くとお店の人が店の中を案内してくれました。店の中にはたくさん品物がありました。品物は、きれいにさらばられていた。

B
見学をして、スーパーマーケットで働く人は、お客さんの事を考えて、いろいろなふうをしているのだなと思いました。

C
わたしは、社会の学習でスーパーマーケットに見学に行きました。スーパーマーケットでは、どことなくふうをしているのか調べるためです。

D
お店の人が、お客さんが取りやすいように品物を工夫してならべていることを教えてくれました。他にもお客さんが買い物をしやすいようにいろいろなふうをしていること教えてくれました。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】



レベル4



【文章の文末表現から、敬体、常体の不統一という間違いを正し、よりよい表現に書き直す問題】

(2) ———線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

レベル6・7



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

A
それは、おばあちゃんが、わたしたちのために用意しておいてくれたものだ。おばあちゃんといっしょに食べたケーキは、あまくてとてもおいしかった。

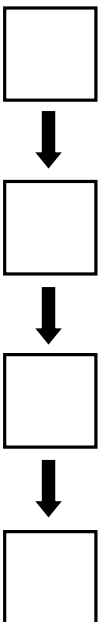
B
先週の日曜日に、わたしと弟は、二人でおばあちゃんの家に遊びに行った。

C
わたしと弟は、十分くらい歩いて、おばあちゃんの家に着きました。げんかんの前でおばあちゃんがまっついていてくれた。

D
おばあちゃんといっしょに家の中に入ると、テーブルの上においしそうなケーキがおいであるのが目に飛びこんできた。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】レベル4・5

(1) A～Dをお話が続くように順番をならべかえましょう。



【文章の文末表現から、敬体、常体を統一し、より良い表現に書き直す問題】

(2) ———線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

レベル6・7



復習シート 第四学年 国語

組	番号	名前	模範解答

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

A
スーパーマーケットに着くとお店の人が店の中を案内してくれました。店の中にはたくさん品物がありました。品物は、きれいにならべられていた。

B
見学をして、スーパーマーケットで働く人は、お客さんの事を考えて、いろいろな工夫をしているのだなと思いました。

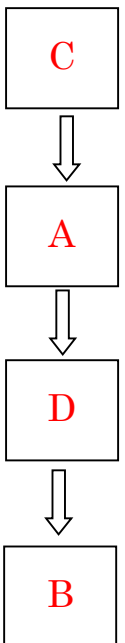
C
わたしは、社会の学習でスーパーマーケットに見学に行きました。スーパーマーケットでは、どんなくふうをしているのか調べるためです。

D
お店の人が、お客さんが取りやすいように品物を工夫してならべていることを教えてくれました。他にもお客さんが買い物をしやすいようにいろいろなくふうをしていること教えてくれました。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】

(1) AからDをお話が続くように順番をならべかえましょう。

レベル4・5



「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを考えながら読みましょう。

【文章の文末表現から、敬体、常体の不統一という間違いを正し、よりよい表現に書き直す問題】

(2) — 線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

レベル6・7

いました。

A～Dの文の最後に注目して考えましょう。
A：くれました B：思いました
C：行きました ためです D：くれました
文末表現に合わせて書くことが大切です



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

1 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

それは、おばあちゃんが、わたしたちのために用意しておいてくれたものだ。おばあちゃんといっしょに食べたケーキは、あまくてとてもおいしかった。

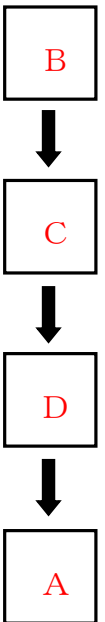
B
先週の日曜日に、わたしと弟は、二人でおばあちゃんの家に遊びに行った。

C
わたしと弟は、十分くらい歩いて、おばあちゃんの家に着きました。げんかんの前でおばあちゃんがまっついていてくれた。

D
おばあちゃんといっしょに家の中に入ると、テーブルの上においしそうなケーキがおいであるのが目に飛びこんできた。

【文の順番をならべかえて、話の内容を組み立てる問題】レベル4・5

(1) A～Dをお話が続くように順番をならべかえましょう。



「だれが」「どうした」などの主語・述語や、「それは」などの指示語に気をつけながら、場所や時間を表す言葉をヒントにして考えましょう。

【文章の文末表現から、敬体、常体を統一し、より良い表現に書き直す問題】レベル6・7

(2) ——— 線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。

着いた

A～Dの文の最後に注目して考えましょう。



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

二ひきの馬が、まどのところでぐうるぐうるどひるねをしていました。

すると、すずしい風がでてきたので、一ぴきが①くしゃめをしてめをさましました。

ところが、あとあしがいつぽんしびれていたの、よろよろとよろけてしまいました。

「おやおや。」

そのあしに力をいれようとしても、さっぱりはいりません。

そこでもだちの馬をゆりおこしました。

「たいへんだ、あとあしをいつぽん、だれかにぬすまれてしまった。」

「だって、ちゃんといてるじゃないか。」

「いやこれはちがう。だれかのあしだ。」

「どうして。」

「ぼくの思うままに歩かないもの。ちよつとこのあしをけとばしてくれ。」

そこで、ともだちの馬は、ひづめでそのあしをぽんとけとばしました。

「やっぱりこれはぼくのじゃない、いたくないもの。ぼくのあしならいたはずだ。よ

し、はやく、ぬすまれたあしをみつめてこよう。」

そこで、その馬はよろよろと歩いてゆきました。

「やア、いすがある。いすがぼくのあしをぬすんだのかもしれない。よし、けとばしてや

ろう、ぼくのあしならいたはずだ。」

馬はかたあしで、いすのあしをけとばしました。

いすは、いたいとも、なんともいわないで、こわれてしまいました。

馬は、テーブルのあしや、ベッドのあしを、ぼんぼんけつてまわりました。けれど、ど

れもいたいといわなくて、こわれてしまいました。

いくらさがしてもぬすまれたあしはありません。

「ひよつとしたら、あいつがとつたのかもしれない。」

と馬は思いました。

そこで、馬はともだちの馬のところへかえつてきました。そして、すきを見て、ともだちのあとあしをぽんとけとばしました。

するとともだちは、

「いたいッ。」

とさけんでとびあがりました。

「そオらみる、それがぼくのあしだ。きみだろう、ぬすんだのは。」

「この②とんまめが。」

ともだちの馬は力いっぱいけかえしました。

しびれがもうなおっていたので、その馬も、

「いたいッ。」

と、とびあがりました。

そして、やっこのことで、じぶんのあしはぬすまれたのではなく、しびれていたのだとわかりました。

*①くしゃめ…くしゃみ

*②とんま…まぬけなこと

(新見南吉「あし」より)

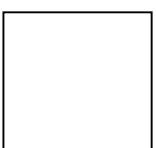
(1) 「そのあし」とは、何をさしていますか。次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 いすのあし
- 2 ひきの馬のあし
- 3 ぼくのあし
- 4 ベッドのあし



(2) ともだちの馬に自分のあしをけられて、どんなことがわかったのですか。次の1から3までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 自分の足はぬすまれたのではなく、しびれていたのだということ。
- 2 自分のあしをぬすんだのは、ともだちだったということ。
- 3 自分のあしはぬすまれたのではなく、いすのあしと入れかわっていたということ。



埼玉県立学習支援センター



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【情報を読み取る問題】

- 1 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

とうとう、ぼうし屋がみつかりました。お母さんが道々よく教えてくれた、黒い大きなシルクハットのぼうしのかん板が、青い電灯にてらされてかかっていました。子ぎつねは、教えられたとおり、トントンと戸をたたきました。

「こんばんは。」

すると、中では何かコトコト音がしていましたが、やがて、戸が一すんほどゴロリと開いて、光のおびが、道の白い雪の上に長くのびました。

子ぎつねは、その光がまばゆかったので、面くらって、まちがったほうの手を、——お母さんが、出しちゃいけないと言ってよく聞かせたほうの手を、すき間からさしこんでしまいました。

「このおててにちょうどいい手ぶくろ、ください。」

すると、ぼうし屋さんは、おやおやと思いました。きつねの手です。きつねの手が、手ぶくろをくれと言うのです。これはきつと、木の葉で買いに来たんだなと思いました。

（出典 新美南吉「手ぶくろを買いに」）

- 問 「まちがったほうの手」とは、何の手ですか。文章中から、五文字で書きぬきましょう。
レベル5・6

--	--	--	--	--



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【本文省略】

(1) 「そのあし」とは、何をさしていますか。次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 いすのあし
- 2 ひきの馬のあし
- 3 ぼくのあし
- 4 ベッドのあし

3

○3行目「あとあしがいつぼんしびれていたの」・5行目「力をいれよう」として
も、さっぱりはいりません。」に注目しましょう。
○5行目と問題の「そのあし」は、ぼくの、しびれているいつぼんのあとあしの
ことを指しています。

- (2) ともだちの馬に自分のあしをけられて、どんなことがわかったのですか。次の1から3までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**
- 1 自分の足はぬすまれたのではなく、しびれていたのだということ。
- 2 自分のあしをぬすんだのは、ともだちだったということ。
- 3 自分のあしはぬすまれたのではなく、いすのあしと入れかわっていたということ。

「そして、やっとのこととで、じぶんのあしはぬすまれたのではなく、しびれていたのだとわかりました。」の文に着目して考えましょう。

1



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【情報を読み取る問題】

- 1 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

とうとう、ぼうし屋がみつかりました。お母さんが道々よく教えてくれた、黒い大きなシルクハットのぼうしのかん板が、青い電灯にてらされてかかっていました。子ぎつねは、教えられたとおり、トントンと戸をたたきました。「こんばんは。」すると、中では何かコトコト音がしていましたが、やがて、戸が一すんほどゴロリと開いて、光のおびが、道の白い雪の上に長くのびました。子ぎつねは、その光がまばゆかったので、面くらって、まちがったほうの手を、——お母さんが、出しちゃいけないと言ってよく聞かせたほうの手を、すき間からさしこんでしまいました。「このおててにちょうどいい手ぶくろ、ください。」すると、ぼうし屋さんは、おやおやと思いました。きつねの手です。きつねの手が、手ぶくろをくれと言うのです。これはきつと、木の葉で買いに来たんだなと思いました。

（出典 新美南吉「手ぶくろを買いに」）

問 「まちがったほうの手」とは、何の手ですか。文章中から、五文字で書きぬきましよう。
レベル5・6

き	つ	ね	の	手
---	---	---	---	---

「まちがったほうの手」が他の言い方で書かれている言葉を探します。「五文字で書きぬきましよう」という指示があるので、「きつねの手」が答えとなります。



復習シート 第四学年 国語

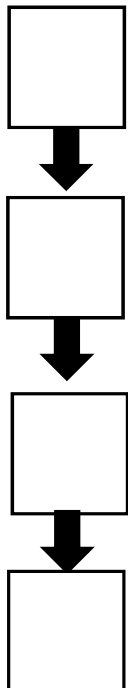


組	番号	名前
---	----	----

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】 **レベル6・7**

1 次の1～4の言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

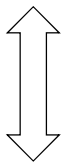
- 1 ふうせん
- 2 プール
- 3 ふうりん
- 4 ふるさと



【反対の意味の言葉・似ている意味の言葉を書く問題】 **レベル1～3**

2 次の——言葉と反対の意味の言葉、似ている意味の言葉を書きましょう。

1 とびらをあげる。



とびらを

【反対の意味】

2 両チームのとく点は等しい。



両チームのとく点は

【似ている意味】

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】 **レベル4・5**

3 次の文章の——のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から

それぞれ一つ選びましょう。

①夏休みに、読書カ|ン想文を書いた。

- 1 寒
- 2 漢
- 3 感
- 4 館

②わたしの兄は、野キ|ュウ部に入っています。

- 1 究
- 2 級
- 3 急
- 4 球

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】 **レベル6・7**

① 次の文の主語、述語を——線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

(1) 今日、ぼくも 六時に 起きた。

主語	<input type="checkbox"/>
述語	<input type="checkbox"/>

(2) ぞうが 赤い りんごを 食べた。

主語	<input type="checkbox"/>
述語	<input type="checkbox"/>

【文中の修飾語にあたるものを選択する問題】 **レベル6・7**

② 次の文の修飾語を——線部1～3の中からそれぞれ選びましょう。

(1) 黄色い チューリップが さいた。

(2) 星が きらきら 光っている。

【漢字の部首を選択する問題】 **レベル4・5**

② 次の(1) (2)の漢字の「へん」を書きましよう。また、その「へんの名前」を
あとの1～4の中からそれぞれ一つ選びましよう。

(1) 持 へん

へんの名前

(2) 港 へん

へんの名前

1 たけかんむり	2 にんべん	3 てへん	4 さんずい
----------	--------	-------	--------

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

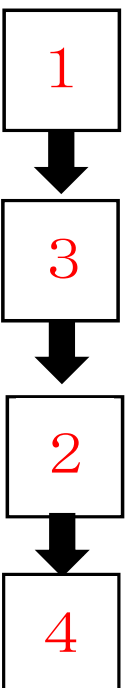
1 次の1～4の言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

1 ふうせん

2 プール

3 ふうりん

4 ふるさと

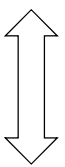


レベル 6・7

【反対の意味の言葉・似ている意味の言葉を書く問題】

2 次の——言葉と反対の意味の言葉、似ている意味の言葉を書きましよう。

1 とびらをあける。



とびらを

しめる

【反対の意味】

レベル 1～3

2 両チームのとく点は等しい。



両チームのとく点は

同じ

【似ている意味】

レベル 4・5

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

3 次の文章の——のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から

それぞれ一つ選びましよう。

それぞれの漢字の意味から考えましよう。

①夏休みに、読書カ|ン想文を書いた。

1 寒

2 漢

3 感

4 館

3

②わたしの兄は、野キ|ユウ部に入っています。

1 究

2 級

3 急

4 球

4

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】レベル6・7

1 次の文の主語、述語を——線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

- (1) 今日、ぼくも 六時に 起きた。

主語は、「だれは(が)」「も」「何は(が)」「も」などを表す言葉です。
 述語は、「どうする」や「どんなだ」「なんだ」などを表す言葉です。

主語

2

述語

4

- (2) ぞうが 赤い りんごを 食べた。

主語

1

述語

4

【文中の修飾語にあたるものを選択する問題】レベル6・7

2 次の文の修飾語を——線部1～3の中からそれぞれ選びましょう。

- (1) 黄色い チューリップが さいた。

修飾語は、主語や述語をくわしく説明する言葉です。

1

- (2) 星が きらきら 光っている。

修飾語は、主語や述語をくわしく説明する言葉です。

2

【漢字の部首を選択する問題】レベル4・5

2 次の(1) (2)の漢字の「へん」を書きましよう。また、その「へんの名前」を

あとの1～4の中からそれぞれ一つ選びましよう。

(1) 持

へん

扌

へんの名前

3

(2) 港

へん

氵

へんの名前

4

「てへん」の漢字の多くは、「手」に関係がある意味をもっています。
 「さんずい」の漢字の多くは、「水」に関係がある意味をもっています。

- 1 たけかんむり 2 にんべん 3 てへん 4 さんずい